

「久志小中学校の八月踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	宇検村立久志小中学校
2. 学年・人数	小学1～6年生 15人, 中学1～3年生 9人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年9月の1か月間 小：体育, 中：保健体育, 本校体育館, 校庭 令和6年9月19日 保護者や地域とのリハーサル, 本校体育館 (2) 発表の日時・場所 令和6年9月29日 本校の秋季大運動会にて披露, 本校校庭
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能, 伝統行事, 伝統工芸品について	(1) 名 称 八月踊り（はちがつおどり） (2) 由 来 旧暦の八月に稲の収穫を祈って踊られる。現在は簡略化されて, 集落内の広場で踊られることが多いが, 集落によっては数日かけて, 時には夜通しかけて, 集落内の全戸を回りながら道や庭で踊る習わしがある。 (3) 構成等 道や庭（学校では体育館や校庭）に円陣を作り, 歌者は歌に合わせて島太鼓（チヂン）を打ち, 踊り手たちは足並みを揃えて手踊りをする。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	地域の方々の中には, 踊り方や踊る際の掛け声などに詳しい方がいらっしゃる。毎年指導していただくことで児童生徒が次の世代の踊り手として, 久志校区の八月踊りを伝承していけるようにしている。
6. 取組の様子（練習状況, 発表の場等）	  保護者や地域の方々とのリハーサル 秋季大運動会にて披露
7. 感想・意見 (参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	【児童生徒】 ・ 地域の方々といっしょに踊ることができて, よい思い出になった。 ・ 踊りは難しいけれど, 自分も大人になったときに久志小中の子供たちに伝えていきたい。 【保護者】 ・ 子供たちに鹿児島（奄美）の伝統的な八月踊りをしっかりと受け継いでほしい。 【地域】 ・ 以前に比べると踊れる人が少なくなっているのので, 子供たちには八月踊りを受け継ぎ, 踊りのよさを今後も大事にしてほしい。